



講師の細川さん

面接の礼法と所作学ぶ

旭中で「よのなか教室」

2021/11/24
7:11
延岡

延岡市立旭中学校
(池野宗宏校長、22
3人)は4日、キャリア
ア教育の講師として職

業人を招く「よのなか
教室」を開いた。受験
や就職に必須となる
「面接」に備え、正し
い礼法や所作を身に付
けようと市キャリア教
育支援センター(水永
正憲センター長)の協

力で実施。3年生75人
が希望する進路の実現
に向けて授業に臨ん
だ。

講師は、秘書技能1
級を持ち、キャリアアコ
ンサルタントとして求
職者を支援する細川真
由美さん(みやさき若
者サポートステーション
ンサテライト延岡)。前
半は礼法に関する講
話、後半はそれに基づ
く実技演習を行った。

講話では、正しい身
だしなみやお辞儀の使
い分け、あいさつの後
に頭を下げることで好
印象を与える「語先後
礼」などを解説。▽き
ちんとしている▽誠実
▽中学生らしく素直▽
元気▽緊張感を忘れな
いといった面接で重要
な五つのポイントも伝
授した。

続く実習では、同校
が準備した手製の扉を
使って入退室の流れを
実演。代表者が、講話

で教わったお辞儀の角
度や面接官に対する目
線の位置を意識しなが
ら挑戦し「手を体の横
に付ける」「退室時は椅
子の後ろを通る」など
と具体的なアドバイス
を受けていた。

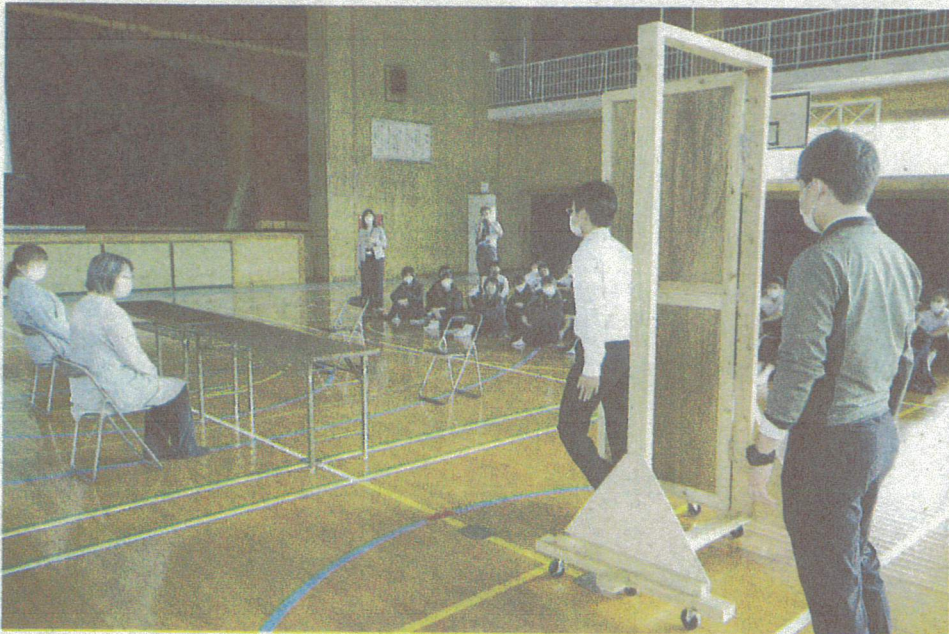
また、生徒たちは、
通常は2年次に行う職
場体験がコロナ禍でで
きなかったため、細川
さんから「働くとは何
か」を聞く時間もあっ
た。

細川さんは「人の役
に立つのが『働く』と
いうこと。就職してお
金を稼ぐだけでなく、
誰かの役に立てる人間
になってください」と
激励。生徒たちは今月
から始まる面接練習に
向けて気持ちを新たに
した様子だった。

代表で実技に挑戦し
た後藤愛理沙さん(14)
は「とても緊張した。
予測していない質問へ
の答え方が不自然に
なってしまうので、本
番を想定しながらしっ
かり練習したい」と話
していた。



お辞儀の練習をする生徒たち



手製の扉で実技に臨む生徒